

受賞名	優秀賞	部門名	アイデア部門
作品名	『脱、スクラップ&ビルドの住宅展示場』 ～地域に寄り添い環境にいい暮らし方を提案する家～		
応募者名	近藤建設株式会社 永島 利倫		
住宅の概要	住所 埼玉県富士見市	構造・階数 木造2階	延床面積 115.51 m <sup>2</sup>
環境への工夫	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自然材料の利用や資源循環の長寿命化に関する工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 2 省エネ設計手法に関する工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 3 自然と共生し、自然通風など自然力利用に関する工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域の林業、気候風土・歴史的技術の継承などへの工夫 <input type="checkbox"/> 5 災害時でのLCPが継続できる工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 6 その他の独創的な工夫		
作品の説明	<p>■スクラップ&amp;ビルドから地域共生モデルへ</p> <p>総合住宅展示場のモデルハウスは、およそ5～10年で建て替えられてしまいます。豪華に建てられた住宅展示場は、一般的な住宅よりも大きく沢山の建材を使用しています。そうした住宅展示場のスクラップ&amp;ビルドの環境負荷は多大です。これからの住宅展示場の在り方を考え直し、展示場として活用した後も地域のランドマークとなる住宅として販売する。地域の中で住み継がれていく『地域共生型モデルハウス』へ移行していくことで、環境への負荷を軽減することを提案いたします。この『地域共生型モデルハウス』では、地域に寄り添い建築し、そのエリアの子供たちを招いたワークショップを行うことで地域の方々との交流を図ります。また、環境に配慮した住まい方の提案を行うことで、地域の方々にも環境を意識した街づくりや、暮らし方を考えてもらうことを目的としています。</p> <p>■環境に配慮した暮らし方提案</p> <p>【Kon Kon Home Mizuko】での事例</p> <p>①間伐材合板を利用した『ウッドシェイクウォール』</p> <p>吹き抜けのアクセントウォールを、間伐材の合板でデザインすることで自然素材の良さと、健康に配慮した暮らしを提案。</p> <p>②南側コンクリート土間による『蓄熱効果』</p> <p>太陽熱の取得（ダイレクトゲイン）が期待できる南側に、蓄熱効果の高い土間スペースを趣味や子供の遊び場として提案。</p> <p>③吹き抜けを利用した『自然採光と庇による日射調整』</p> <p>リビングを吹き抜けとし、南側隣家をかかわした日射を取得することで、自然採光と暖房負荷の低減を図る計画とした。また、南側は庇をしっかりと出す計画で、夏の日射熱取得を低減しています。</p>		

<p>作品の説明</p>	<p>④緑豊かな外構計画で『夏場の日射遮熱と冷却効果』</p> <p>コロナ禍のお家時間の過ごし方と合わせて、グランピングをできる緑豊かなプライベートガーデン。子供たちに食育を行えるオーガニックガーデン（家庭菜園）の提案をしています。コンクリートを少なくし、なるべく多くの緑化を行うことでプライバシーの配慮や、夏場の冷却効果が得られます。</p> <p>■愛着が持てる住み継ぎたくなる家</p> <p>土間や麻縄柱、ウッドシェイクの壁など、素材の経年変化や、職人の手仕事の趣がある空間を提案しています。子供が楽しく元気に育ち、将来住み継ぎたくなる家。愛着のわく家。しっかりとメンテナンスして次世代まで住み継いでもらえる家にする事で目的を達成します。</p>
<p>講 評</p>	<p>住宅展示場である建物の再利用提案である。本来、住宅展示場は10年ほど展示したら新しい建物に建て替えると聞いておりましたが、脱、スクラップ&amp;ビルドの住宅展示場でありました。住宅展示場と言うと高価な材料や備品を入れて豪華に見せるのであるが、ごく一般的に使用できる材料等を使用し、誰もが購入しても良いと考える展示場である。環境に配慮した暮らし方提案も自然であり、今後このような再利用型展示場が増えることを望みます。</p> <p>今回は、まだ一年半程度での住宅展示場の販売であったので一次エネルギー消費量等の計算ができておりませんでした。環境住宅賞のアイデア部門の優秀賞として、今後も販売していただきたいと思います。（講評者：佐藤委員）</p>